

令和5年度 第2回文化財保護審議会 会議録

日 時：令和5年10月5日（木）

視察 13:00～14:35 会議 14:45～15:30

場 所：飯山市公民館 101 会議室

出席者：委 員 望月委員、樋口委員、清水委員

欠席者：浦山委員、丸山委員

事務局：松木教育長、田中文化振興部長、藤木文化財係長、文化財係丑山

現地視察

○正受庵…本堂修復工事現場の見学

○五束宝篋印塔

樋口委員：塔の方位は合っていますか。

→方向が違っているように見える。設置する時に変わったのでは。

逆さまに設置されているのでは。調べてみる必要あり。

1 開 会 田中部長

2 あいさつ

望月会長：五束宝篋印塔は倒れないように固定されたが向きが違っていた。本来の正しい設置を記録して地元へお知らせしてほしい。

本日は中間報告、事業計画について話し合ってください。

松木教育長：視察でいろいろな事が見えてきた。今年の報告と来年の計画をして文化財の保護が着実に進められるようにお願いします。

3 協議事項 進行：望月会長（飯山市文化財保護条例第44条により会長が議長）

(1) 令和5年度事業中間報告について 事務局から説明

（望月会長）関沢館跡は中の工事だったのですか。

（事務局）掘削が1mに満たないので県からは立ち合いでいいとのことでした。何も出ませんでした。

（樋口委員）関沢館というのは初めて聞きました。関沢館ということで包蔵地にしているのですか。

（望月会長）文献に出ているので館ということにしています。

（松木教育長）お知らせですが正受庵の工事に合わせて和紙同好会が正受庵の障子の張り

替えを10月7日に行います。

(2) 令和6年度事業計画案について

(望月会長) ふるさと館に膨大な量の古文書がありますが目録がとられていません。古文書講座はぜひ続けていってください。初級を受けた人が中級コースになり、目録作りのボランティアになってほしいと思います。

飯山市の文化財や市誌に指定文化財候補物件がありますので、これを検討して欲しいです。事務局の方から審議会へ諮問して欲しいと思います。

(3) 文化財説明板の表記について

(望月会長) 25年以上前に看板を作った時に担当していました。弥生時代後期から古墳時代にかけては4世紀が古墳前期、5世紀が中期、6世紀が後期とされています。しかしこの古墳は世紀を入れないで「古墳時代前期前半」と訂正するのがいいと考えています。

今後、看板にはあまり時代を限定しないでいくのがベターと考えます。

(樋口委員) 「前期前半」とした場合、古墳のマニアの人にはわかるが、一般の人にはわかりづらいのではと思います。○世紀と入っていた方が今から何百年前かわかりやすいのでは。古墳の造られた時期を断定するのは、きちんと発掘していないのであぶない。一定の幅を持たせた方がよいと思います。

(望月会長) 事務局と検討して差し障りのない範囲で修正したいと思います。

(樋口委員) 説明板はプロの専門家向けではなく、市民向けにわかるような表現にしていたきたいと思います。

(望月会長) 意見を出した人は、当時は4世紀という意見でした。

(樋口委員) 看板に4世紀後半と具体的にがあると看板を見て本を書かれる心配があります。

(望月会長) 事務局と相談して変更していくことでよろしいですか。

→了承

4 次回開催日について

2 月 中旬 日 () 会場

5 その他 なし

6 閉 会 田中部長